外科系共通プログラム

【研修目標】

本研修の目標は、本学の基本方針である「人間性豊かな、優れた医療人の育成」に沿って良き外科医を育成する事です。到達目標は、卒後５年での「外科専門医の修得」です。

以下は、卒後３年目以降のカリキュラム（後期研修）について記載します。

【身分】

３年目：初期臨床研修２年修了後、兵庫医科大学病院所属のレジデントＡとして、どの科にも入局しません。研修開始前に、下記のローテート研修（３か月）を含めて、残りの９か月をどこに所属したいか個々の希望を聴いて、卒後臨床研修センターにおいて１２ヵ月分を調整し、各科に配属されます。この期間は、複数科における研修が可能です。

４年目：消化器・一般外科・心臓血管外科・呼吸器外科・小児外科・乳腺内分泌外科のいずれかに入局し、レジデントＢとなります。４年終了時に、外科専門医に必要な予備試験（筆記）を受験します。

５年目：レジデントＣとなり、５年終了時までに必須手術経験を終え認定試験（面接）を受けて、外科専門医の資格を得ます。

外科専門医習得に必要な最低必要手術経験

初期研修の２年間で経験することを目標としていますが、もし不足があればレジデントＡ・Ｂ・Ｃの期間で経験できるようにします。

【レジデントＡ（卒後３年目）のローテート研修について】

総合診療能力のスキルアップのため、麻酔科・疼痛制御科またはＩＣＵのいずれかで、レジデントＡ（卒後３年目）期間中に、希望により３ヶ月間研修を行うことができます。

【所属】

レジデントＡは病院長直轄、Ｂ,Ｃは、病院長が各診療部長へ管理を委託します。研修病院は、レジデントＡは原則として本院ですが、レジデントＢ・Ｃは、関連病院で研修することができます。

なお、入局の意思表明は、初期研修時から可能です。

【その他研修要件】

外科専門医修得のためには、研修に際して日本外科学会への入会および修練開始登録が必要です。ただし、初期研修満了後６ヶ月以内に修練開始登録した場合、研修開始まで遡って登録できます。

【研修統括者】

外科部門長：宮本　裕治

【問い合わせ先】

外科部門長（心臓血管外科　主任教授：宮本裕治　y-miyamo@hyo-med.ac.jp）